

2012年12月度の化学繊維生産・在庫の概況（速報）

日本化学繊維協会

【生産動向】

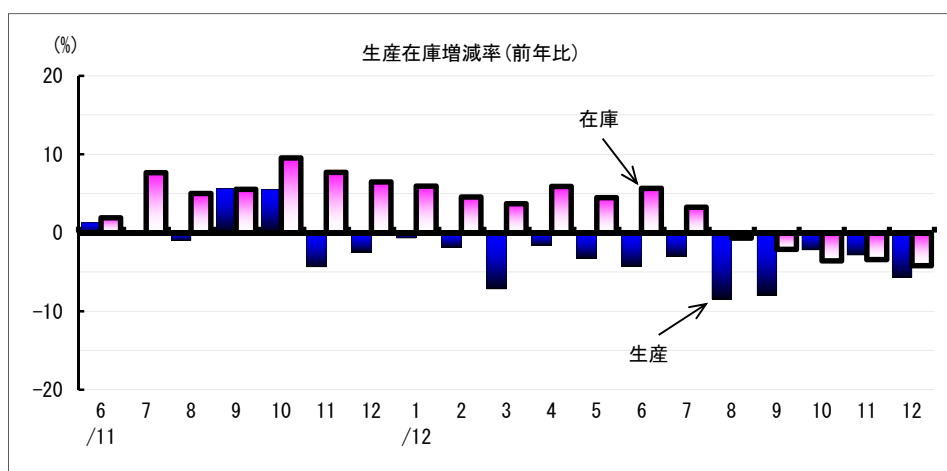
化学繊維生産は 79,293 トン、前年同月比 5.8%減、うち合成繊維生産は 66,157 トン、同 5.7%の減であった。

主要品種では、ナイロンFは前年同月比 3.9%減の 8,032 トン、アクリルSは同 2.3%減の 11,729 トン、ポリエステルFは同 16.5%減の 12,729 トン、ポリエステルSは同 8.2%減の 12,233 トンであった。

【在庫動向】

化学繊維在庫（生産者）は 93,346 トン、前月比 1.1%減、前年同月比 4.2%減、うち合成繊維在庫は 79,166 トン、前月比 1.5%減、前年同月比 4.5%の減であった。

主要品種では、ナイロンF 10,237 トン、前月比 0.5%減、アクリルS 10,895 トン、同 12.7%増、ポリエステルF 15,122 トン、同 6.1%減、ポリエステルS 22,117 トン、同 6.3%の減であった。



以上

ホームページアドレス <http://www.jcfa.gr.jp/>

お問い合わせ先：日本化学繊維協会 大阪事務所 榎本

Tel : 06-6231-6784

表1. 2012年 12月 化学繊維生産・在庫(速報)

[生産高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)	累計(トン) 1月以降	前年同期比 (%)
			増減(トン)	比率(%)			
セルロース計	13,136	11,988	1,148	109.6	94.1	167,815	99.9
ナイロンF	8,032	8,006	26	100.3	96.1	98,145	103.3
アクリルS	11,729	11,237	492	104.4	97.7	139,852	92.2
ポリエステルF	12,729	12,528	201	101.6	83.5	167,037	92.4
ポリエステルS	12,233	11,207	1,026	109.2	91.8	151,481	96.4
ポリプロピレンF	6,324	6,456	-132	98.0	110.1	70,394	103.7
ポリプロピレンS	4,320	4,630	-310	93.3	95.6	50,370	95.2
その他	10,790	10,819	-29	99.7	98.2	134,984	90.5
合繊計	66,157	64,883	1,274	102.0	94.3	812,263	95.1
合計	79,293	76,871	2,422	103.2	94.2	980,078	95.9

[在庫高]

	当月 (トン)	前月 (トン)	前月比較		前年同月比 (%)
			増減(トン)	比率(%)	
セルロース計	14,180	14,003	177	101.3	97.2
ナイロンF	10,237	10,292	-55	99.5	113.7
アクリルS	10,895	9,670	1,225	112.7	103.1
ポリエステルF	15,122	16,110	-988	93.9	88.2
ポリエステルS	22,117	23,609	-1,492	93.7	95.1
ポリプロピレンF	1,001	969	32	103.3	103.8
ポリプロピレンS	5,173	5,343	-170	96.8	76.9
その他	14,621	14,376	245	101.7	96.2
合繊計	79,166	80,369	-1,203	98.5	95.5
合計	93,346	94,372	-1,026	98.9	95.8

表2. 合繊主要4品種 生産・在庫推移

<生産>

		生産高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2011年12月	8,357	103.3	102.6
	2012年7月	8,572	112.3	104.4
	8月	8,766	102.3	103.1
	9月	8,041	91.7	100.9
	10月	7,324	91.1	100.9
	11月	8,006	109.3	99.0
	12月	8,032	100.3	96.1
アクリルS	2011年12月	12,000	120.4	103.7
	2012年7月	10,146	95.1	82.8
	8月	11,531	113.7	81.9
	9月	11,587	100.5	86.7
	10月	13,036	112.5	95.5
	11月	11,237	86.2	112.8
	12月	11,729	104.4	97.7
ポリエステルF	2011年12月	15,239	99.5	95.8
	2012年7月	14,355	97.9	93.2
	8月	13,377	93.2	88.9
	9月	13,294	99.4	91.0
	10月	13,599	102.3	90.1
	11月	12,528	92.1	81.8
	12月	12,729	101.6	83.5
ポリエステルS	2011年12月	13,329	116.6	93.2
	2012年7月	12,968	101.3	92.8
	8月	13,271	102.3	89.0
	9月	12,670	95.5	104.7
	10月	12,153	95.9	101.8
	11月	11,207	92.2	98.0
	12月	12,233	109.2	91.8

(注)最新月は速報値、その他は確報値

<在庫>

		在庫高(トン)	前月比(%)	前年同月比(%)
ナイロンF	2011年12月	9,004	99.1	89.7
	2012年7月	9,157	104.8	79.9
	8月	10,021	109.4	82.2
	9月	10,114	100.9	90.9
	10月	9,711	96.0	97.9
	11月	10,292	106.0	113.3
	12月	10,237	99.5	113.7
アクリルS	2011年12月	10,571	108.6	112.6
	2012年7月	10,691	96.2	131.3
	8月	10,754	100.6	124.2
	9月	10,534	98.0	124.9
	10月	10,359	98.3	102.4
	11月	9,670	93.3	99.3
	12月	10,895	112.7	103.1
ポリエステルF	2011年12月	17,142	103.9	104.7
	2012年7月	17,426	105.2	112.7
	8月	17,797	102.1	107.1
	9月	16,515	92.8	106.7
	10月	16,900	102.3	105.6
	11月	16,110	95.3	97.7
	12月	15,122	93.9	88.2
ポリエステルS	2011年12月	23,253	97.9	112.0
	2012年7月	24,875	107.5	97.2
	8月	26,312	105.8	94.5
	9月	23,712	90.1	94.8
	10月	24,756	104.4	98.8
	11月	23,609	95.4	99.4
	12月	22,117	93.7	95.1

(注)最新月は速報値、その他は確報値

2012年の化学繊維生産の概況（速報）

日本化学繊維協会

2012年（年間）の化学繊維生産は98.0万トン、前年比4.1%減。うち合成繊維は81.2万トン、同4.9%減、セルロース繊維は16.8万トン、同0.1%減であった。

主要品種の生産は、以下のとおり。

ナイロンFは9.8万トン、前年比3.3%増。衣料用途はパンスト向けが堅調であったが高密度織物やインナー向けが低調、産業資材用途はエアバッグ向けが好調。

アクリルSは14.0万トン、同7.8%減。衣料用途は保温肌着向けが健闘したがそれ以外は低調、毛布やカーペットなど建寝装向けは不振、輸出も中国中心に盛り上がり欠けた。

ポリエステルFは16.7万トン、同7.6%減。衣料用途は高密度織物をはじめ全般低調、自動車関連用途はカーシートやゴム資材向けが堅調であったがタイヤコード向けが苦戦。

ポリエステルSは15.1万トン、同3.6%減。紡績用途はユニフォーム向けが不振、製綿用途は低位安定、不織布用途は衛材や湿式向けが堅調であったが、車輛資材向けは苦戦。

上記以外では、ポリプロピレンFは前年を上回ったが、ポリプロピレンSは低調。

以上

2012年 化学繊維生産高 (速報)

日本化学繊維協会

品 種	2012年 (トン)	2011年 (トン)	前年比較	
			増減(トン)	比率(%)
セルロース計	167,815	167,901	-86	99.9
ナイロンF	98,145	95,027	3,118	103.3
アクリルS	139,852	151,605	-11,753	92.2
ポリエステルF	167,037	180,769	-13,732	92.4
ポリエステルS	151,481	157,084	-5,603	96.4
ポリプロピレンF	70,394	67,850	2,544	103.7
ポリプロピレンS	50,370	52,933	-2,563	95.2
その他	134,984	149,103	-14,119	90.5
合繊計	812,263	854,371	-42,108	95.1
合 計	980,078	1,022,272	-42,194	95.9

(注) 非会員企業のデータについては推定値で集計した。以下同様